



計画を立てよう

昨日（4日）の学級日誌に●●君が

「●●君が頭を冷やして休んだ。大丈夫かなあ…。僕の頭の中はもう夏休み気分です。とはいっても、勉強の夏休みになると予想。日比谷生は1年から受験生?!」と書いている。前半部分の真偽は未詳だが（笑）、後半部分について担任は、

「むしろ、3年生は星陵祭に燃えてますから、受験生らしくないように（一見）見えます。でも、しっかり時間をコントロールして勉強しているようです。」

とコメントしておいた。

個人面談で中間考査の話と夏休みの話もしているのだから、「勉強の夏休み」といった表現も出てくるのだろうし、実際頑張ろうと思っている諸君も多いことだろう。しかし、そのためには「計画」を立てることが必要だ。

とは言っても、「休み」になるような「夏」なのだから、そんなに勉強がはかどるわけではない。部活（合宿も含む）もあるし、講習や宿題もある、さらに、星陵祭の準備もあり、家族での計画だってあるに違いない（こういう時に、家族としての絆を深めることも大切なことだと私は思う）。だから、遠大な計画を立てると、かえって後悔が残ったりすることになる。宿題の他にやるべきこと（不得意科目の復習など）を2つか3つくらいに絞り、土・日には計画をいれずに調整日とするくらいの、余裕をもった計画を立てるが望ましいだろう。

ちなみに、宿題もそれなりに出るし、9月●日(●)はその宿題テスト、さらに●日(●)

からは前期期末考査が始まるから、8月の最終週あたりからは、勉強に本腰を入れるように心がけてほしい。ついでに、9月当初が今書いたような日程だから、宿題をためてしまおうとかなり大変なことになる。宿題はできるだけ早く終わらせて、宿題テストの際にはサッと見直せばイイくらいにしておくのが理想である。宿題テストがあるんだから宿題はその直前にやった方が…と考えると、前期期末の準備が出来なくなってしまうという落とし穴が待っているのだ…。

こんな風を書く、「勉強の夏休み」の印象が強まってしまったらどうか。でも、言いたかったことは、

- 1 計画を立てる。
- 2 宿題は早めに。
- 3 8月の最終週からはきっちり勉強。
- 4 不得意科目の復習を。

の4点である。保護者会で「400時間勉強するのですか?」という質問も出たが、それは3年生の目標値。3年生には、1日10時間×40日分のマトリクスを印刷したプリントを配布して、勉強した時間分だけ塗りつぶすという（かなり原始的な?笑）作業を課しているのだが、やった勉強量がはっきり目に見えることもあり、それなりに好評である。

そこまでしなくてもよいが、大雑把でもよいから計画を立て、楽しくかつ有益な時間が過ごせるように工夫したいものである。なにせ高校時代の夏休みはあと3回しかないのである。その3回を有効に活用するにはどうしたらいいのか、しっかり考えよう。